

単元名 話の意図を考えてきき合い、「きくこと」について考えよう

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 話し言葉と書き言葉との違いに気付いたり、情報と情報との関係付けの仕方を理解したりすることができる。  
 (2) 内容や目的に応じて、日常生活の中から話題を決めたり、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめたりすることができる。  
 (3) 目的や意図に応じて話の内容を捉え、インタビューをしたり、報告し合ったりしようとする。

### 標準的な展開例

05010107\_001

【教材名】きいて、きいて、きいてみよう／インタビューをするとき

(P. 38～P. 43)

【準備等】インタビュー用のメモ用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習の見通しをもつ。          ★「きくこと」について考えよう。          ○「休みの日の過ごし方」について、グループ内でインタビュー活動をする。          ○インタビューの様子について報告する。</p> <p>○学習課題を設定し、学習計画を立てる。</p> <p>2 インタビューの準備をする。          ○友達に聞きたい話題を決める。          ○インタビュー用のメモを作る。</p> <p>3 インタビューの仕方を知る。          ○インタビューの仕方をつかむ。</p> <p>○それぞれの役で気を付けたいことを考える。</p> <p>4～5 インタビューをする。          ○インタビューをしたり、インタビューをされたり、インタビューの様子を記録したりする。          ○自分が記録したインタビューの報告をする。          ○報告を聞いた感想を伝える。</p> <p>6 学習のまとめをする。          ○それぞれの「きく」について、違いや気を付けるとよいところを考える。          ・インタビューをするときの「きく」          ・インタビューをされるときの「きく」          ・やり取りを記録するときの「きく」          ・報告を聞くときの「きく」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに「きき手」「話し手」「記録者」決めさせる。</li> <li>・インタビューをして、うまくいったところや直すとよいところなどを全体で報告させる。</li> <li>【評】インタビューをする活動を通して、目的や意図に応じた「きく」行為を考えようとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・インタビューをする活動を通して、「きくこと」について考えることを知らせる。</li> <li>・話し手の人柄や考え方を引き出すような話題を考えさせる。</li> <li>・話題について、質問と予想される答えを考えメモを作らせる。</li> <li>・教科書(P. 40)を参考に、インタビューの様子をつかませる。</li> <li>・二次元コードを読み込み、「グループでインタビューをし合う」の動画を視聴するのもよい。</li> <li>・交代して3回のインタビューを行い、すべての役割を経験させる。</li> <li>・「話し手」「きき手」「記録者」のそれぞれのポイントを押さえる。</li> <li>・交代して3回のインタビューを行い、全ての役割を経験させる。</li> <li>【評】インタビューをする活動を通して、情報と情報の関係付けの仕方を理解する「知識・技能」を評価する。</li> <li>・教科書(P. 41)で報告の仕方を押さえる。</li> <li>・二次元コードを読み込み「インタビューの内容を報告する」の動画を視聴するのもよい。</li> <li>・内容が正確に捉えられているか、話し手の人柄や考え方が伝わるか、発表の仕方はどうかについて感想を言わせる。</li> <li>【評】感想を伝える活動を通して、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・違いや気を付けるとよいことを話し合わせ、まとめさせる。</li> <li>・教科書(P. 42)「たいせつ」や「いかそう」で身に付けた力を押さえる。</li> <li>・教科書(P. 258)でインタビューについてまとめる。</li> </ul>

【 備 考 】